

- 高波浪時に発生する貨物船の滞船や係留ロープ切断等の発生による危険な荷役作業を強いられるなどの問題が発生しており、これを解消するために防波堤（北沖、南沖）の整備により港内静穏度の向上を図る。
- さらに、南海トラフ巨大地震の津波に対する対策として、南沖防波堤の「粘り強い化」の整備を実施している。

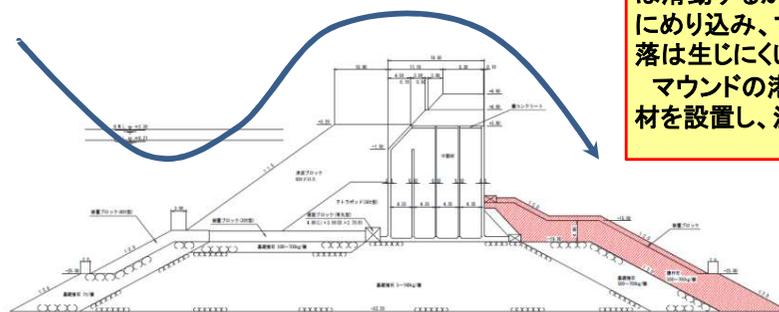


【参考】細島港周辺における想定津波被害

- [想定地震] 南海トラフ地震 + 宮崎県独自モデル
- [最大津波高] 15m (日向市)
- [浸水深さ] 5m以上 (細島港周辺)
- [地震規模] マグニチュード9.1
- [到達時間] 最短17分 (日向市)
- [震度] 震度7 (日向市)

(出典) 宮崎県地震減災計画

粘り強い構造への改良



津波が来襲した際、ケーソンは滑動するが、基礎マウンドにめり込み、マウンドからの滑落は生じにくい。
マウンドの港内側にも被覆材を設置し、洗掘を防止する。

腹付工（嵩上げ高4m）及び被覆工（被覆ブロック3t型）を付加的な対策と（粘り強い化）として施す。

防波堤（南沖）

- 《事業概要》
 事業着手：平成10年度
 事業内容：
 防波堤（南沖）600m・・・国施工
 防波堤（北沖）450m・・・宮崎県
 事業期間：平成10年度～令和9年度



長周期波対策



津波避難施設（県事業）



- 津波発生時に緊急避難する避難階段（H28完成）
 避難スペース（H29施工）
 [東地区] 海拔20.7m
 避難スペース面積200m²
 [西地区] 海拔19.2m
 避難スペース面積200m²

平成28年11月4日 チリ共和国と合同津波避難訓練